病院名	北上済生会病院
研修科目名	整形外科

◇　研修目的

整形外科疾患全般にわたって、診断、治療法を経験し、習得する事を目標とする。

◇　整形外科の研修目標

【救急医療】

◇　ＧＩＯ（一般目標）

運動器救急疾患、外傷に対応できる基本的診療能力を習得する。

◇　ＳＢＯｓ（個別行動目標）

１．多発外傷の重症度を判断できる。
２．骨折に伴う全身的、局所的症状を述べることができる。
３．神経、血管、筋腱損傷の症状を述べ、診断できる。
４．脊髄損傷の症状を述べ、麻痺の高位診断を判断できる。
５．骨、関節感染症の急性期の症状を述べることができる。

【慢性疾患】

◇　ＧＩＯ（一般目標）

運動器慢性疾患の重要性と特殊性について理解、習得する。

◇　ＳＢＯｓ（個別行動目標）

１．変型疾患を列挙し、病態を理解する。
２．各疾患の画像所見（Ｘ線、ＭＲＩ、造影像）を解釈できる。
３．検査、鑑別診断、初期治療の方針を立てることができる。
４．理学療法等の重要性を理解し処方できる。

【基本手技】

◇　ＧＩＯ（一般目標）

運動器傷病の正確な診断と安全な治療を行うために、基本手技を習得する。

◇　ＳＢＯｓ（個別行動目標）

１．主な身体測定ができる。
２．疾患に適切なＸ線写真の撮影部位と方向を指示できる。
３．骨、関節の身体所見がとれ、評価できる。
４．神経学的所見がとれる。
５．一般外傷の診断、応急処置ができる。
６．理学療法の指示ができる。
７．清潔操作を理解し、創処置、関節穿刺、注入、小手術、直接牽引ができる。

【外来】

◇　ＳＢＯｓ（個別行動目標）

１．患者さんと上手くコミニュケーションをとることができ、正確に問診をとることができる。
２．身体所見を記載できる。
３．検査のオーダーが適切にできる。
４．治療方針を立てることができる。
５．的確な医療記録を記載できる。

◇　教育に関する行事

	午前	午後
月	病棟回診	手術
火	外来診察	検査等
水	病棟回診	手術
木	外来診察	病棟回診 検査等
金	病棟回診	手術

◇　研修評価

研修終了時に、指導医により目標の到達状況についての評価を行う。

◇　研修方法

（１）外来：　指導医の指導のもとで外来診療を行い、診断法・治療法を研修する。
また適宜、指導医と当直を行い緊急時の救急外来対応を経験する。

（２）病棟：　指導医の指導のもとで、入院患者の担当医として自覚を持って研修にあたる。

◇平成27年度指導責任者及び指導医

整形外科指導責任者　　吉　田　知　史